

## 実施結果報告書

1. 学校名：同志社中学校					
2. 学習名称：駅と地域を活性化する中学生ムーブメント 叡電 八幡前駅プロジェクト（叡電との産学協同 第12期目） ＜教科外 特別活動（同中学びプロジェクト）＞					
3. テーマ：叡電「八幡前」駅を“地域交流”を生む持続可能な駅にする 地域の人にとっても、同志社生にとっても、大切な八幡前駅を 自分たちの手でもう一度「素敵な駅」にしよう					
4. 実施教科：教科外での特別活動として実施					
5. 関連単元：課外（活動の監修は、社会科および技術科）					
6. 実施単元数：課外（ただし、活動期間は2022年4月～2023年3月） （ミーティング回数は約50回、活動時間の総計は80時間超）					
7. 学年	中学1～3	8. クラス数	対象：全校	9. 生徒数	登録20名(任意)
<p>10. 実施内容</p> <p>■プロジェクトの目標は、つぎの3点とした。</p> <p>(1) 駅利用者の地下鉄への流出や、地域の少子高齢化によって活気を失っている叡電「八幡前駅」。地域や同志社にとって大切な「八幡前駅」を、中学生主体による課題解決のアプローチでもう一度「素敵な駅」にしたい。</p> <p>(2) 交通環境学習（モビリティ・マネジメント教育）の支援事業として、“人や社会、環境にやさしい”という観点を継続的に加え、産学協同パートナーの叡山電鉄株式会社との連携のなかから、より都市環境・交通環境への貢献や還元度の高い学習活動に発展させる。</p> <p>(3) プロジェクト活動の中から生み出されたコンセプト『持続可能な地域・駅をつくる』ことを目指し、最終的に地域のチカラで駅が活性化され続ける状態を生み出すためのアクションを実施していく。（SDGs 11番目の目標：住み続けられるまちづくりを）</p> <p>基本的には、生徒の発想をベースにプロジェクトを展開・進行したが、モビリティ・マネジメント教育としての実践につなげるよう工夫した。また、新型コロナウイルス感染症への対応も含め、[リアルとオンラインの併用] [新しい生活様式] [人と</p>					

人のつながり]などを意識し、これからの公共交通、これからのモビリティ、これからのコミュニティへの可能性を見いだす取り組みを目指した。

■具体的な実施内容の要点は、次のとおりである。

イ)「八幡前駅プロジェクト」は、叡山電車との産学協同の取り組みとして、2013年から継続していることもあり、2022年度も4月から活動を始めた。当支援制度の決定は2022年7月であったが、全校生徒約900名に対して有志メンバーを募集し、最大20名(1年生5名、2年生11名、3年生4名)が参画した。2022年度も、新型コロナウイルス感染症の社会的影響が続き、生徒の活動についても学校として一定の規制が設けられたが、年度末までの丸1年間継続して活動することができた。

ロ)本校独自の方針のもと、感染症対応として10月中旬までは完全オンラインでのプロジェクト運営となった。プロジェクトミーティングは、オンライン会議サービス【zoom】および【teams ビデオチャット】で実施した。オンラインミーティングは、毎回録画して【YouTube】にアップ(限定公開設定)し、メンバーおよび叡山電車との共有をおこなった。オンラインミーティング以外に、メンバー間での情報共有やコミュニケーションは、グループウェア【Microsoft teams】を活用した。

ハ)活動の主な対象である叡電「八幡前駅」および周辺地域、また叡山電車全線について、実際にリサーチ・フィールドワークを行うことを積極的には指導できない状況が続いたが、写真資料や現地からの中継を駆使して、オンライン上で可能な限りの情報提供を行い、特徴や課題をとらえ、誰にとってどのような魅力的な駅にしたいのか、そのために何ができるか議論を重ねた。「地域・交流」を生み出す「ココアツ」な駅をプロデュースする!というテーマを継続し、その活動を地域に根付かせることまでをゴールに「持続可能な駅・地域」づくりを目指すことを確認した。

ニ)オンラインでのミーティングでは、「チェックイン」「アイスブレイク」等を充分に取り入れて、自由に意見を出せるよう安心安全な関係性づくりに注力した。また、一堂に会してのミーティングの絶対量が確保できない状況下で、全員協働で1つの企画を行うのではなく、参画生徒各人がマイプロジェクト的に活動するスタイルも併用して活動した。

ホ)生徒によるプランは、すべて叡山電車に提案(プレゼン)を行い、内容の精査や調整、協力・協同をもとに実行に移すことを基本としている。今年度は「オンラインでの実施」「対面しての実施」「ビデオ収録での共有」など、感染症の状況に応じてやり取りをハイブリッドして行うことができた(※学習のながれに記載の報告をご参照ください)。叡電の代表取締役社長:豊田様も毎回楽しみにお聞きいただき、そういった関係性も中学生メンバーのやりがいに繋がっている。

ヘ)新型コロナウイルス感染症の影響により全校での集会等がすべて無いなかで、学校内での全校生徒への活動報告や呼びかけは、「全校放送」で代行することになった。企画したイベントの実施告知や、取り組みへの参加呼びかけは、放送で積極

的に行うとともに、プロジェクト活動の広報用に制作しているコミュニケーション web サイトに加え、八幡前駅プロジェクトによる「note」への記事投稿も継続した。

★八幡前駅プロジェクト note はこちら→



ト) 2021 年度の活動で発行が実現 (2022 春号・夏号) した、【八幡前駅や地域を広報するコミュニケーションブックレット】の配布について、2022 年度も継続して叡電への提案や調整をすすめ、6 月には叡電の主要有人駅 (出町柳駅・修学院駅・八瀬比叡山口駅・鞍馬駅) に常設していただけることとなった。※写真あり

また、八幡前駅の上下ホームには、配布ラックポケットも新たに設置して、プロジェクトメンバーによって随時設置・補充ができるようになった。その後も、2022 秋号や冬号の発行を検討し、編集を進めたが記事作成で難航してしまい、結果的には 2023 春号を発行する時期までずれ込んだ形になったが、叡電さんとしても発行の継続を希望いただき、校正協力のもと発行に至った。※見本あり

本校の校内での配布促進も、もっと分かりやすく手に取りやすくするべきとの検討から、2023 春号の配布からの活用のため、ブックレット配布用設置ケースを購入し校内壁面に配備することとなった。

チ) 2021 年度の活動から、叡山電車への提案をつづけ、また実際のコンテンツ制作についても叡電の監修を受けて【公認】となった「叡電で遊ぼう」アプリは、すべてが生徒の手によって製作されたアプリとしてついに完成した。Apple 社の App Store への掲載申請を繰り返し (テクニカルな面で整っているかの調整も難航)、2022 の年末に何とか正式に公開 (リリース) することができた。App Store で掲載し、より多くの人にダウンロードしてもらうため、「アイコン」のデザインや、「紹介文」「紹介スクショ画面」などについてもミーティングでの検討を重ねた。今後、アプリの広報について、広く叡電に触れる人々に認知してもらえるような方法を継続して検討していく。また Android 版のリリースを希望する声 (叡電の社長より) にも対応する検討をしている。

#### ====アプリ概要====

同志社中学校で進められている『八幡前駅プロジェクト』のメンバーによって作られた叡電公認の「叡電で遊ぼう」アプリです。

叡電に関するクイズやゲームを通じて叡電を楽しみながら知って貰いたいと思い開発致しました。叡電についての豆知識なども紹介しているのでチェックしてみてください!! 今現在は、クイズとゲームしか無いですが、今後新しい機能もどんどん追加していこうと思っています。

#### 【アプリの主な特徴】

##### ◎豆知識の紹介

叡電や八幡前駅プロジェクトに関する豆知識を紹介しています!

##### ◎叡電クイズ

叡山電車に関するクイズを叡電検定のような形式で出来る様になっています。レベルは、5 級～1 級。そして八幡前駅に関するクイズの計 6 つ種類があります。

結果のシェア機能や、○×判定機能や、合否判定機能など

様々な機能を設定しました。1級クリアで叡電社員レベル！

#### ◎叡電ゲーム

叡電の車両の写真を使った簡単なゲームが出来ます。ゲームの内容として横にランダムに動いているボックスを縦に揃えるというもので、縦にきれいに揃えれば揃えるほど良いスコアが出るという仕組みです。レベルは全部で4つありレベルが上がれば上がる程ボックスが動くスピードが速いです。是非チャレンジしてみてください！



★アプリのダウンロードはこちらから→

り) これまで10年継続してきた八幡前駅での「クリスマス企画」は、叡電ならびに地域住民や駅利用者からの“期待”もあり、この八幡前駅プロジェクトの定番活動として2022年度12月も実施した。駅利用者や地域住民にとって“何を”提供できるのか、どんなテーマを掲げるかが大事だとプロジェクトメンバー間で意見が沸き上がり、近隣地域や駅の特徴の考察を改めてしっかりと行った。そこから、2022年のクリスマス企画のテーマを「『こども』を中心にして地域交流が生まれるクリスマス」と定めて、イベントテーマ：ココアツ（コドモココロアツクツツケ）を掲げて、駅ホームにはほんものの「もみの木」ツリーを設置〔京都市森林組合さんより無償提供〕、駅最寄りの岩倉こひつじ保育園さん協力での親子ぬりえメッセージカード募集～展示（ホーム設置の看板）、そして同志社中学生による生歌Live「はちまんまえふゆらいぶ」を提案のうえ、実現させた。※当日はKBS京都放送による収録取材あり、当日夕方の情報番組で報道あり

生徒自らの働きかけの努力により、叡山電車はもとより、京都市森林組合、岩倉こひつじ保育園のご協力、そしてイベント告知のポスター掲示についても駅周辺の店舗いくつかにご理解ご協力をいただきました。すべてはプロジェクトメンバーが足を使って直接出向いてコミュニケーションをとった賜物だった。

#### ★プレスリリース別紙あり

ヌ) 2018年の台風21号による沿線の森林倒木被害で運休となった叡電鞍馬線が復興ができたか否やの状況にあった矢先に、2020年7月豪雨により同じく鞍馬線の貴船口駅近辺で大規模な土砂災害が発生したことは、新型コロナウイルス感染症の影響で国内外からの観光客が激減していた叡電の財政苦境に追い打ちをかけた。叡電側は、この産学協同プロジェクトに割ける余力が大幅に減少。そういった状況についても、プロジェクトメンバーと共有し、我々で何ができるのか、どう助けることができるのか検討もおこなってきた。2021年9月18日、鞍馬線の全線運行が復旧再開した際には、八幡前駅に「激励の看板」を掲出するなど行った。その支援活動を主体的にリードしてきた田中さんも2022年度は中学3年生になり、八幡前駅プロジェクトのラストイヤーを迎えた。森林倒木被害は、沿線山林の保全が弱体化していることに起因していて、困っている主体は京都市森林組合であることを、叡山電車の方々から教わった田中さんは、大好きな電車が山崩れによって止まり、人々の社会生活も困ってしまうことは「何とかしなければいけない」との思いで、八幡前駅プロジェクトでの活動を通して、京都市森林組合への寄付を実現したいと考え

るにいたった。

2021年度の活動で実行レベルまでになりつつも、コロナ禍により延期を繰り返していた【こいくるパンを販売して売り上げから森林組合に寄付する】企画について、2022年度当初からも積極的に準備をかさね、自身で「パン屋（ブレーメン）」「叡電」「京都市森林組合」の3方向へのアプローチと交渉も継続。森林組合から無償提供を受けた北山杉を利用した「立ち売り箱」も自作で完成させ、ついに7月31日に叡電出町柳駅でのイベントを実現させた。

★プレスリリース別紙あり

パンの売り上げの一部と、当日に街頭募金で集まった寄付金（12,314円）を、後日、京都市森林組合へ贈呈し、活動報告のプレゼンテーションも行った。京都市森林組合長から感謝状もいただき、新聞報道もされた。

★感謝状写しと新聞記事資料別紙あり

寄付金の用途についても、京都市森林組合からのヒアリング（困り）を大切にしながらプロジェクトメンバーと検討し、「京都市の森林保全の窮状を適切に知らせて、森林保全の大切さをPRするため」に使って欲しいと提案できた。

実施の振り返りから、さらなる寄付が必要で、かつ、このようなパン販売イベントを出町柳駅で実施するだけでも森林保全の大切さをアピールできるのでは、と考えた田中さんは、卒業までにもう一度企画実施したいと決意。イベントの告知方法（ポスターなど）の改善や、パンの商品ラインアップの見直し、実施時期や時間帯の修正や、販促ツールの増強（オリジナルの法被や帽子を用意）を考案して、プロジェクトメンバーと協議しつづけた。3月のイベント実施提案を固め、叡電へプレゼンして協力の快諾を得て、最終実践として2度目のパン販売を実現した。

★田中さんのプレゼンテーション（ビデオ収録版）→



★プレスリリース別紙あり

パンは200個近く売れ、街頭寄付もあって、今回の寄付額は13,078円となった。東日本震災の日と重なって、報道こそチャンスはなかったものの、出町柳駅を往来する多くの人に、森林保全へのアクション、そして叡電と八幡前駅プロジェクトの活動をアピールでき、成功をおさめることができた。

また、3年生の田中さんの活動は、プロジェクトの後輩メンバーにもしっかりと波及し、今後の企画づくりや実行に移す動き方、そしてマインドの部分も継承されている。このタイミングで、外部講師による『起業・事業化マインドに関する講演（オンライン）』も実施して、これまでのプロジェクト活動と、これからの取り組み方についてプロジェクトメンバーで学ぶ機会も設けた。

## ■活動をとおしての学習成果について

この【八幡前駅プロジェクト】は、教科外の特別活動として、毎年度、活動するメンバーがリフレッシュする形で有志を募っている。「学校がある地域に根差した最寄り駅」というキッカケで出会う叡電「八幡前駅」の活性化・魅力化をテーマに取り組む。他路線への利用者の流出や地域の過疎高齢化といった現実的な課題に対面して、「同志社生が何とかしないとイケない」「自分たちこそが」という、ある種の「ヒーロー」的なポジションに近いモチベーションとともに、中学生という年齢的な無垢さで素直に取り組んでいけるという、最大の長所・意欲のチャンスに溢れたスタートがきれる。

PBL (Project Based Learning) と位置づけて、課題のリサーチから始め、地域と駅のあり方や、利用者が抱える課題なども洗い出す。どうしたら駅を安心・安全に利用できるか。子どもにとって、高齢者にとって、駅と周辺環境はどうあるべきか。駅にどんな工夫があれば関心を集められるか。持続可能な駅・地域はどうあるべきか。ときには「ペルソナ」を設定してみて「インサイト」を見いだすアプローチをとり、あるいは「デザイン思考」の方向や「アート思考」の方向かを選択しながら、自分たちにできるアイデアを検討し、情報収集し、プレゼンテーションをつくり、企業に提案し、実践し、広報する。『PBLは、学習者自身が、幸せに気づく知性や感性を持ち、幸せに生きるための賢明な判断力や行動力を身につけ、異なる文化・価値観・考え方を持つ他者の他者性や自由を尊重して、対話による合意形成を目指し、さまざまな課題を責任を持って、主体的・自律的・協働的に解決し、より幸せな世界を創ることができる資質・能力を身につけた市民（人物）に成長する教育に活かされるのだと思います。』と広石英記氏（日本 PBL 研究所理事・東京電機大学副学長）も述べている。「問い」を自分たち（学習者）で設定して、答えのない課題に向き合い、現実社会に働きかけ、その相互作用として想定外の事象（新たな課題）に次々と出会っていき、また次の課題を再設定していく。こういった現実的・実社会的なクリエイティブの道程は、単純に言えば「楽しくワクワクする冒険のような学び」ともとらえることができそうだ。

このプロジェクトでは、企画を実践すると、そこで出会った学校外の人に感謝されたり、褒められたり、励まされたりする。ときには新聞記事やテレビニュース報道もされる。学校のなかでは得られないような実社会からの評価を受けることが、なによりの喜び・成果として与えられ、さらに練り直し、次のアクションにつなげていく原動力になる。実社会の仕事さながらのプロセスを経験することは、生徒たちに「社会と学びがつながる感覚」「自分たちが考えたことでも、じゅうぶんに社会で通用させることができる自信」「私も社会の一員としてアクションできるシチズンシップ」の獲得を達成している。アントレプレナーシップ（起業家精神）獲得の学習活動としても有効である上に、「駅」「電車」といった公共交通機関や施設の活用を主眼とした学びを通して、モビリティ（人・社会にとっての移動活動）全般への理解、そして社会資本理解・地域貢献活動等につながる自発的な行動をとれる力（人物）を育むことができていると考える。

## 1 1. 学習のながれ：

※別紙、「プロジェクト計画書」をもとにしております。ご参照ください。

※ここでは、時系列でミーティングの内容について記します。

### 【2022 年度活動記録（2022 年 4 月～2023 年 3 月）】

#### 4. 20（オンライン zoom）

継続企画の進捗相談（叡電アプリ開発／パン販売計画／BOOK 配布計画／駅に花を計画）

#### 4. 26（オンライン zoom）

継続企画の進捗相談（叡電アプリ開発／パン販売計画／BOOK 配布計画／駅に花を計画）

メンバー（生徒）主導によるミーティング進行にむけて検討／年間の活動計画見取りスケジュール確認

#### 4. 28（オンライン zoom）

認知モデル Awareness Models をつかって、いま一度、八幡前をみつめなおそう！

【1】 p(パフォーマンス) = P(可能性・ポテンシャル) - i(障害物・マイナス要因)

【2】 強み vs スキル 問題の重要性判断や問題対処の関係性を考える / 自分たちの立ち位置の捉え方

#### 5. 13（オンライン zoom）

新入生メンバー歓迎キックオフ／これまでの活動経緯紹介／次のフェーズ（地域の人たちを巻き込む）を検討

成田さん（1 年）から早速の企画提案（天狗さま企画）について意見交換

#### 5. 26（オンライン zoom）

プロジェクト卒業生の先輩（井上さん：教育実習生）との交流（ハト駅長誕生秘話）

成田さん（1 年）企画「八幡前駅に鞍馬天狗参上」について意見交換

遠藤さん（2 年）によるファシリテーションで、マイプロジェクトの相談ワーク（課題を洗い出す）

#### 6. 1（オンライン zoom）

叡山電車の担当の方を写真で紹介／継続企画の進捗相談（BOOK 企画の配布開始決定）

成田さん（1 年）企画「八幡前駅に鞍馬天狗参上」プレゼンテーションについて意見交換

田中さん（3 年）こいくるパン販売計画（販売価格・商品ラインナップ）について意見交換

#### 6. 7（オンライン zoom）

成田さん（1 年）企画「八幡前駅に鞍馬天狗参上」について意見交換（実行性をどう組み立てるか）

廣川さん（2 年）の企画立案相談（七夕に向けて看板を更新するなど）

#### 6. 10（オンライン zoom）

BOOK 配布について状況報告（八幡前駅・出町柳駅他に配布ラックポケット設置）

6/16 の叡電へのプレゼンにむけて準備相談会（司会進行役の調整など）

佐藤さん (3年) からの問いかけにより、当プロジェクトの意義について各自の考えを確認

#### 6.14 (オンライン zoom)

6/16 叡電へのプレゼン直前の準備ミーティング (プレゼン内容の集約)  
プレゼンリハーサル/木村さん (2年)、成田さん (1年)、田中さん (3年)

#### 6.16 (オンライン zoom/叡電本社)

★叡電さんへのプレゼンテーション★ 動画こちら→



- ◆木村さん (2年) 活動のゴール、コンセプト、グランドルールについて説明/中学生+叡電社員でのチェックイン
- ◆田中さん (3年) 出町柳駅でこいくるパンを販売して、森林組合さんに寄付をする!
- ◆成田さん (1年) 八幡前駅を鞍馬の立ち寄り駅へ (鞍馬天狗が変える八幡前)
- ◆木村さん (2年) プロジェクトの運営の今後について (生徒主体ファシリテーション/地域の人たちを巻き込む)
- ◆叡電より: 発表も進行もよく、良い話し合いが出来た。コロナも少し落ち着いてきたので、直接お会いしていろいろな取り組みがやっていたらと思う。引き続きいろいろなアイデアを出していただきたい。

#### 6.21 (オンライン zoom)

前回、叡電へのプレゼン会の振り返り交流/フィードバック内容の整理と確認

#### 7.8 (オンライン zoom)

継続企画の進捗相談 (こいくるパン販売計画が、7/31 に実行決定)

▼ブレーメン (パン屋) さんへ協力依頼の打ち合わせ

#### 7.12 (オンライン zoom)

継続企画の進捗相談 (こいくるパン販売の準備についてパンの種類・個数の検討、ポスターなど)

成田さん (1年) より新企画提案 (車内放送を中学生でやってみる) について交流

#### 7.14 (オンライン zoom) 進行役: 和田さん (2年)

メンバー募集のポスターを生徒が作成。校内に貼っていきよう!

叡電アプリのリリース準備 (App アイコンをみんなで考えよう! デザイン研究)

成田さん (1年) の新企画 (車内放送を中学生でやってみる) について交流

田中さん (3年) こいくるパン販売企画について意見交換 (袋のパッケージデザイン/礼拝アピールの内容)

#### 7.20 (オンライン zoom)

田中さん (3年) こいくるパン販売企画準備 (立ち売り箱の完成/ミニ冊子の配り方など/袋のシールデザイン)

7.27 プレスリリース配信 → 京都新聞・朝日新聞・読売新聞・KBS 京都放送へ



7/31 出町柳駅でのこいくるパン販売企画について

### 7.31【イベント実施】

★パンを買って森林保全！こいくるパン販売@出町柳駅改札横スペース★

### 8.2（オンライン zoom）

7/31 パン販売イベントの振り返り会・意見交流

酒井くん（2年）BOOKの配布状況確認（秋号制作・発行にむけて／効果的な宣伝で配布増を検討）

### 8.4（オンライン zoom）

新たな企画立案と継続企画の見直しにむけたシンキングワークを実施

企画を「誰に（WHO）」届ける相手？／何を（WHAT）を届けたい？／どのようにして（HOW）？何をやれば？具体的なこと／結局、大切なのは、「なぜ（WHY）」「なんのために（PURPOSE）」

### 8.25（オンライン zoom） 進行役：木村さん（2年）

9/1に京都市森林組合さんへ寄付にいく報告プレゼンのリハーサル／寄付金の使い道提案についてプレスト

木村さん（2年）によるシンキングワーク【BEの肩書を考えよう！（個人の考え方を反映した肩書をつくる）】

### 8.31（オンライン zoom） 進行役：遠藤さん（2年）

遠藤さん（2年）によるシンキングワーク【マンダラートをつくってみよう！】

吉村さん（1年）企画相談（ぬりえを使う企画）

### 9.1【イベント実施】

★京都市森林組合での寄付金贈呈式★

翌9/2 京都新聞朝刊に記事掲載あり

### 9.28（オンライン zoom）

八幡前駅クリスマス企画にむけて準備スタート／駅ホーム看板の更新・活用検討

### 9.29（オンライン zoom）

八幡前駅クリスマス企画アイデア出し（プレスト）／リアルミーティングの持ち方について話合い

※10月中旬から対面での集合ミーティング活動解禁※

### 10.12（対面集合ミーティング）昼休み

過去の取り組み資料を見直してみよう／八幡前駅クリスマス企画について（プレスト）

10.13 (対面集合ミーティング) 昼休み

過去の取り組み資料を見直してみよう／八幡前駅クリスマス企画について (ブレスト)

10.25 (オンライン zoom)

八幡前駅クリスマス企画アイデア出し (ブレスト)

11.15 (オンライン zoom)

八幡前駅クリスマス企画について意見交流 (ほんものの木のツリーを駅におく／ぬりえを活用して子どもをあつめる／駅・地域の人たちにアンケートしたいなど) →今回のクリスマスは「こども」を中心に据えて考えたい

11.16 (対面集合ミーティング) 昼休み

八幡前駅クリスマス企画にむけての検討 (「子ども」を「地域交流」にどうつなげるか?)

11.17 (オンライン zoom)

八幡前駅クリスマス企画にむけての検討 (「子ども」を「地域交流」にどうつなげるか?)

11.24 (対面集合ミーティング) 昼休み

八幡前駅クリスマス企画にむけての検討 (「子ども」を「地域交流」にどうつなげるか?)

11.25 (オンライン zoom)

八幡前駅クリスマス企画にむけての検討 (「コンセプト」「テーマ」を設定する)  
継続企画の進捗相談 (地域の人々の声を聞くアクション／BOOK 企画／叡電アプリのリリースにむけて)

11.28 (対面集合ミーティング) 叡電さん来校あり

★叡電さんへのプレゼンテーション★

動画こちら→



◆遠藤さん (2年) が代表で八幡前駅クリスマス企画をプレゼンテーション

◆イベントテーマ: ココアツ (コドモココロアツクツツケ) 子どもを中心とした交流を生むイベントに

◆ほんものの木でツリー／メッセージカードをあつめて看板設置／生歌ライブ／こいくるパンを販売する

◆叡電より: 毎年継続して実施できていることで、駅利用者や近隣住民の認知や期待も高い。今年も中学生のアイデアで大いに盛り上げて欲しい。いただいた提案は基本的にすべて実施できる方向で調整していきたい。安全・衛生面での配慮をしっかりと行うことが条件。

12.8 (オンライン zoom)

八幡前駅クリスマス企画にむけての検討 (叡電さんとのセッション後の企画内容整理)

駅に設置するツリーの木は、京都市森林組合より提供いただけること決定

ぬりえメッセージカードの準備 (岩倉こひつじ保育園さんへの協力依頼のことなど)

駅ライブについて内容と実施方法等を検討

### 12.9 【訪問】

▼京都市森林組合へ、提供予定のツリーの生木を確認へ（有志参加者）

### 12.12（オンライン zoom）

八幡前駅クリスマス企画の準備（ツリーの設置方法確認／駅ライブの選曲など）

▼こひつじ保育園へ訪問

12.14 プレスリリース配信→京都新聞・朝日新聞・読売新聞・KBS 京都放送へ

12/22 八幡前駅クリスマス企画イベントについて

### 12.20（オンライン teams テレビチャット）

八幡前駅クリスマス企画の準備（ツリーのデコレーション／ぬりえメッセージカード／駅ライブの選曲など）

### 12.21（オンライン teams テレビチャット）

八幡前駅クリスマス企画の準備（当日の運営について最終確認）

### 12.22 【イベント実施】

★八幡前駅クリスマスイベント当日★

◆駅ホームにほんものの「もみの木」ツリーが登場（～年末まで）

◆親子ぬりえメッセージカード募集～展示（ホーム設置の看板）

◆同志社中学生による生歌 Live 「はちまんまえふゆらいぶ」

KBS 京都放送による収録取材あり、当日夕方の情報番組で報道あり

### 12.28 アプリの申請作業

アプリ開発者である沢さん（昨年度から継続：現高1）がアップロード作業

★叡電で遊ぼう！アプリが Apple の AppStore で正式に公開される★

### 2.2（対面集合ミーティング）昼休み

八幡前駅クリスマス企画実施後の振り返り・意見交流

駅ホーム看板の活用について検討／春のこいくるパン販売について再設定

### 2.3（オンライン teams テレビチャット）

継続企画の進捗相談（BOOK 春号の発行について／叡電アプリの広報について／駅ホーム看板の更新内容検討／春のこいくるパン販売にむけた準備確認）

### 2.9（対面集合ミーティング）昼休み

継続企画の進捗相談（BOOK 春号の発行について／叡電アプリの広報について／駅ホーム看板の更新内容検討／春のこいくるパン販売にむけた準備確認）

### 2.10（オンライン teams テレビチャット）

継続企画の進捗相談（BOOK 春号の発行について／叡電アプリの広報について／駅ホーム看

板の更新内容検討／春のこいくるパン販売にむけた準備確認)

### 2.13 (対面集合ミーティング) 昼休み

継続企画の進捗相談 (BOOK 春号の発行について／叡電アプリの広報について／駅ホーム看板の更新内容検討／春のこいくるパン販売にむけた準備確認)

### 2.17 (オンライン teams テレビチャット)

叡電さんへの企画内容プレゼン準備／田中さん (3年) プレゼンリハーサルと意見交流

### 2.20 (プレゼン収録)

※叡電さん来校による対面でのプレゼン見送り、ビデオ収録したプレゼンを送ることに※田中さん (3年) プレゼンテーションを収録 (3/9 春のこいくるパン販売計画について)

### 3.7 プレスリリース配信 →京都新聞・朝日新聞・読売新聞・KBS 京都放送へ

3/9 出町柳駅でのこいくるパン販売企画について

### 3.7 【訪問学習】

▼叡電本社&車庫見学会を実施

叡山電鉄株式会社の修学院本社にプロジェクトメンバーで訪問し、会社の沿革や事業、車両についての講習を受ける

車庫の見学で、車両・整備・保線・点検を実際に観察して理解と興味関心を深めた

### 3.9 【イベント実施】

★パンを買って森林保全！春のこいくるパン販売@出町柳駅改札横スペース★

### 3.13 【オンライン講習】

アイデアや企画を実社会で実装させるために、起業や事業化 (収益化) についてどのように取り組めばいいのか、またそのときにどんな気持ちや考え方を持てばいいのかなどを講師 (田村美和氏：全日本子ども金融教育協会代表) からオンラインで講習を受ける

### 3.20 (オンライン zoom)

今年度最終ミーティングとして、振り返りや卒業するメンバーとの交流を深めた

### 3.25 作業

叡電との校正やり取りを経て、BOOK (コミュニケーションブックレット) 2023 春号を発行する (印刷下版)

以上、ご報告いたします。  
ありがとうございました。

※学習で使用した教材やワークシート、学習風景を撮影したビデオや写真、指導計画書などを添付して提出してください。